

力にサポートしてくれる副市長をできるだけ早く決めなければならない。検討中である。

質問 子どもの権利条例を生かした子どもを守る取り組みが弱いのでは。

答弁 子どもたちが奥州市で生まれ育ったことが良かったと思えるようになるよう支えていく。

質問 自らの業務の贅肉を削ぎ落とすとは。

答弁 「あればいい」ではなく「なくてはならない」の基準でさらに切り込み、スリム化する。

質問 中心市街地以外の地域の商店出店にも支援してほしい。

答弁 やる気に対応する支援を検討したい。

質問 当事者意識という言い方は違和感があり誤解を招くのでは。

答弁 われわれ一人一人がまちづくりの当事者であり、支え助け合いで市を活性化していく。

【教育委員長に対する質問】

質問 地域課題を解決する人材の育成に関し、「協働」を実現するため、地域のリーダーを担う40代50代へ地域課題を投げかけ、みんなで考えさせる施策が是非必要だと思

うが、どう考えるか。

答弁 「学びの協働体」の考えとして、小中学生時代から人との関わりを持つ授業づくりを通して、そのような能力を育てる取り組みを行っている。青年世代へのアプローチについては大きな課題であると認識しており、今



演説する高橋清融教育委員長

後取り組み始めるところから始めて行きたい。

質問 特別支援教育について、支援員の勤務時間の増加に向けた取り組みはどうなっているのか。また、毎

月4日を家庭読書の日としているが、その現状と今後の施策については。

答弁 現在6時間勤務の支援員だが、学校・支援員双方からの要望もあり、下校時間に合わせた勤務体制がとれるよう、当局に働きかけを行っている。家庭読書の日は、読書体験が社会に対し能動的な関わり意識を増やす傾向が統計によって明確であり、親子のコミュニケーションを通して家庭教育力アップにつながるのと観点から、必要な施策と考えている。今後は、家庭のみでなく社会全体に

普及するよう、広がりのある施策を実施して行きたい。



企画展がいっぱい 江刺図書館

質問 学校教職員安全衛生委員会の今年度の方針は。また、就学援助としてのクラブ会費援助の見通しと、発達支援センターの訪問支援は継続する

のか。

答弁 昨年度の学校教職員安全衛生委員会の調査は、傾向を掴む程度であった。今年度は特に時間外勤務について全校調査を実施することで勤務実態を把握し、健康・安全な勤務環境づくりへの体制を整えて行きたい。クラブ会費援助は、援助

費用が高額になると試算しており、家庭への負担軽減に向けて現在模索中である。訪問支援制度は奥州市が誇るものであり、昨年度同様の規模で進めるとともに、さらに連携を深めて行きたい。

質問 生徒の学力バラツキ解消に向けた習熟度別授業は必要ではないか。

また、市民が気軽に芸術文化活動に参加できる市民劇や、生涯スポーツ活動の推進に向けたマラソン大会等は今後も継続する

のか。

答弁 習熟度別授業についてはその手法を活かしながら、生徒の関わりの中で形を変えて既に取り組んでいる。市民劇やマラソン等の継続については、現在見直しのストーリーラインに立ったところであり、これから検討を進めて行きたい。

質問 現在、勤務状況の過酷さから離職者も増え、保育士の不足が深刻な問

題となっている。保育士の確保と、環境整備への取り組み状況はどうなっているのか。

答弁 保育士不足は全国的に深刻な問題であり、妙案が無いのが現状である。様々な方面からの助言を頂きながら、賃金や勤務環境の改善を含め、できることから取り組んで行きたい。

質問 社会教育の問題で、公民館が事実上廃止されたことについて総括をしているのか。また、青少年リーダー育成事業の取り組み状況はどうなっているのか。

答弁 公民館から地区センターに変わった段階において、生涯学習推進センターを設置して事業の継続を進めてきているが、今後は社会教育全体の体制の見直しを含めて検討をして行きたい。ジュニアリーダー育成事業は、教育振興運動と連携した形で進めて行きたい。